

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	徘徊高齢者等家族支援サービス事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	徘徊高齢者を介護する家族	意図	徘徊高齢者の安全が確保され、徘徊高齢者を介護する家族の経済的負担が軽減される。
事業内容	認知症等で徘徊する高齢者を在宅で介護する家族に対し、事業者が行う徘徊高齢者家族支援サービスを利用した場合、契約時の登録手数料の一部を助成する。			
事業開始から現在までの状況変化	事業費は、地域支援事業交付金として交付される。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	助成件数（年間）	2	1	0	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	認知症介護家族の精神的負担及び非課税世帯に対する経済的負担の軽減	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	認知症高齢者を介護している家族への支援として、平成18年度からは、介護保険の地域支援事業として支給をしている。 しかし、対象となる経費が初回の登録料等のみであることや、ここ数年GPS機能付きの携帯電話が普及したことにより、申請者が少なくなっている。 周知については、他制度と共にサービス一覧に掲載し窓口配布したり、ホームページへの掲載、家族の集い等での周知を行っている。
--------------------	----------------------------------	-----------------------------------	---

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	79,900	81,300	68,650
事業費(b)(円)	10,800	6,000	
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)	69,100	75,300	68,650
人役・職員(人)	0.01	0.01	0.01
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	事業内容の検討を行うとともに、本事業の必要な方へ周知ができるようにする。	③取組の課題	窓口で徘徊の方について相談があった際、サービス案内をしているが、利用に繋がらない。
②今年度(H28)に実施した取組	サービス内容の検討のため、過去に本事業の利用者がGPS端末を購入した業者へ聞き取り調査を行った。	④今後の改善計画	事業内容の検討を行い、本事業の必要な方へサービスが提供できるようにする。